



### 湖南中生による中学入学説明会 ～6年生の不安が大きな期待に～



湖南中生による中学入学説明会の様子

卒業まで残り少なくなり、中学進学に向けて不安と期待が入り混じった気持ちで毎日を過ごしている6年生もいるのではないのでしょうか。

湖南中学校の2年生が小学校6年生に向けて中学入学説明会を開いてくれました。対象は船津小学校、小立小学校、大嵐小学校、鳴沢小学校です。湖南中生は、それぞれの母校に出向いて説明を行っています。鳴沢小学校においてはリモートで行いました。「授業、部活、生徒会、一日の流れ、先輩後輩について、湖南中の魅力」などについてパワーポイントを作成し、クイズ形式にするなど、6年生の興味・関心・意欲が高まるような様々な工夫を凝らした説明が行われていました。

「授業において小学校と中学校の大きな違いは、教科ごとに先生が替わり、一コマが50分になること。」「部活の数が多く、とても充実した活動が行われていて、楽しいと感じている生徒が多い。」「上下関係はあるが先輩はみんな優しい。」「湖南中最大行事の学園祭（樹光祭）は、学年一丸となって取り組み、全てに様々な魅力がある。」など、小学校とは違った素晴らしさを堂々と発表する先輩の姿に6年生は釘付けでした。船津小6年生の勝俣颯介さんは、「中学の様子がよく分かって入学するのがとても楽しみになりました。特に部活が楽しみです。」と感想を述べていました。

学校生活や授業のやり方が小学校の頃とは全く違うため、新しい環境になじめないことから、学校生活にいろいろな問題が起きてくる中1ギャップを防ぐためにも、こうした生徒の取り組みは大変有効です。実際に中学校生活を送っている先輩の言葉は説得力があり、心に響きます。6年生の不安が期待にかわった時間となったのではないのでしょうか。

しっかり準備をし、精一杯の気持ちを6年生に伝えてくれた湖南中2年生の皆さんの姿は大変立派でした。

しっかり準備をし、精一杯の気持ちを6年生に伝えてくれた湖南中2年生の皆さんの姿は大変立派でした。



興味津々に湖南中生の  
話に耳を傾ける6年生

## 長年にわたる保護者や地域の方々による読み聞かせ

### ～お話の世界に浸る子どもたち～ 大石小学校



地域の方の読み聞かせ

大石小学校では、長年にわたり保護者や地域の方々による読み聞かせ（読書ボランティア活動）が行われています。読み聞かせは学期ごとに6回ずつ行っています。

子どもたちは、この時間をとても楽しみにしていて、食い入るように話を聞いています。子どもたちの聞く姿や物語に感動する姿を見るとこの活動のすばらしさが良く分かります。読む本や紙芝居は学年に合わせて考えてくださっています。

本に親しめば親しむほど感情が豊かになり、視野も広がるといわれています。読み聞かせを続けることで、読書が身近なものになり、結果として学力面においても、心理面においてもたくさんの効果が得られているようです。

大石小学校の地域人材の専門性を生かした特色ある教育活動の一つである読み聞かせの取り組みは、地域の方々の豊かな人間性や豊富な経験、知識から多くのことを学ぶ機会になっています。



ぐいぐい引き込まれていく子どもたち

## 親子で学ぶ命の学習

## 船津小学校 2年生

### ～いじめていい命もいじめられていい命もない～



講師の海野聖子様



船津小学校で、命について考える授業が行われました。今回は親子で授業を受けました。講師は都留市立病院の看護師海野聖子様です。

命の始まりから出産に至るまでの流れを通して、命の素晴らしさや尊さを学んでいきました。2年生の子どもたちは、講師の話に真

剣に耳を傾けていました。特に出産の映像の場面では、声を上げることもなく、静かにじっと視聴していました。きっと言葉にはできない深いものを心で感じ取っていたのではないのでしょうか。保護者も出産した時の感動が蘇ってきて、日常を見つめ直す機会になったのではないのでしょうか。講師からは「たくさん抱っこされた命だから、いじめていい命もいじめられていい命もないです。自分の命も友だちの命も大事にすることが大切です。」と熱いメッセージが送られていました。

これは、日々、命の誕生の瞬間に寄り添う看護師さんだからこそ伝えられる話です。心で感じる命の学習。子どもにとっても保護者にとっても有意義な時間になったことと思います。



真剣に話を聞く子どもたち